



与那原町  
2026年5月発行

浜田公園



2026（令和8年）年度

# 与那原町の わかりやすい 予算書



町公式  
ホームページ

## 目次

### 基礎知識編

予算とは？ . . . . . P1      令和8年度の予算 . . . . . P2

### 歳入編

令和8年度の歳入は？ . . . . . P3      町税にはどんなものがあるの？ . . . P4

### 歳出編

どのような目的の歳出があるの？ . . . P5      ちがった視点から見ると？ . . . . . P6

### 主要事業編

みんなが参加したくなる「ひと」と「人」が網がる新しいまちづくり . . . . . P7  
「いちゃりばちよーでー」平和の心で網（つな）がる教育文化のまち . . . . . P9  
笑顔あふれるやさしいまち . . . . . P12  
快適に暮らせる美しいまち . . . . . P14  
「ひと」と「人」が網（つな）がる安心・安全なエコタウン . . . . . P15  
伝統を継承し未来に網（つな）げる産業のまち . . . . . P16

### 重要施策編

①大型MICE . . . . . P16  
②こどもの貧困対策 . . . . . P17  
③生涯健康づくりの推進 . . . . . P17  
④脱炭素地域づくり . . . . . P17  
国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計 . . . . . P18  
与那原町議会 . . . . . P18

# 基礎知識編



## Q 予算って何ですか？

A. 予算とは、1年間の「収入」と「支出」を見積もることです。

新しい年度が始まる前に、1年間(4月から翌年3月まで)にどのくらいの収入があるか、その収入をもとにしてどのような行政サービスを行うのかを計画し、その費用を見積もります。



## Q 予算はどうやって決まるのですか？

A. 町長が作った予算案が、町議会の審議と議決により予算として成立します。

役場の担当課が、町の最上位計画である総合計画に基づき、1年間の行政サービスを検討します。町長は各担当課の案を自分の考えにそって予算案としてまとめ、町議会に提出します。

町民の代表である町議会議員は、提案された予算案を審議したうえで、町議会の議決により予算を決定します。



## Q 予定外のお金が必要になったときは？

A. 予定外の支出に必要な予算は「補正予算案」として町議会へ提出され、審議と議決により予算として成立します。

自然災害など、当初の見積りでは想定していなかった予定外の経費が必要となった場合には、それに対応するための予算案を作り、町議会へ提出します。これを補正予算といいます。

# 基礎知識編



## Q 令和8年度の与那原町の予算は？

A. 一般会計、特別会計、公営企業会計の全ての会計をあわせると、**157億1576万円**になります。

**一般会計**  
113億3586万円

福祉や防災、教育、道路整備など町の基本的な行政サービスを行うための会計です。

**特別会計**  
23億9201万円

特定の目的のための会計で、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計があります。

**公営企業会計**  
19億8789万円

民間企業と同じように事業収入で運営している事業の会計で、水道事業会計、下水道事業会計があります。

公営企業会計  
19億8789万円

一般会計  
113億3586万円

特別会計  
23億9201万円

## 特別会計 内訳

**国民健康保険特別会計** 21億1683万円

国民健康保険税を主な財源として、被保険者が病気やけがをした場合の医療給付事業を行っています。

**後期高齢者医療特別会計** 2億7518万円

後期高齢者医療保険料を主な財源として、後期高齢者(75歳以上)への医療給付事業を行っています。

## 公営企業会計 内訳

**水道事業会計** 8億1416万円

水道料金を主な財源として、水道水の供給、施設の新設や修繕などを行っています。

**下水道事業会計** 11億7373万円

下水道料金、町からの繰入金を主な財源として、各家庭からでた汚水を処理場へ運ぶための汚水管や雨水を海まで運ぶ雨水管の新設、修繕などを行っています。

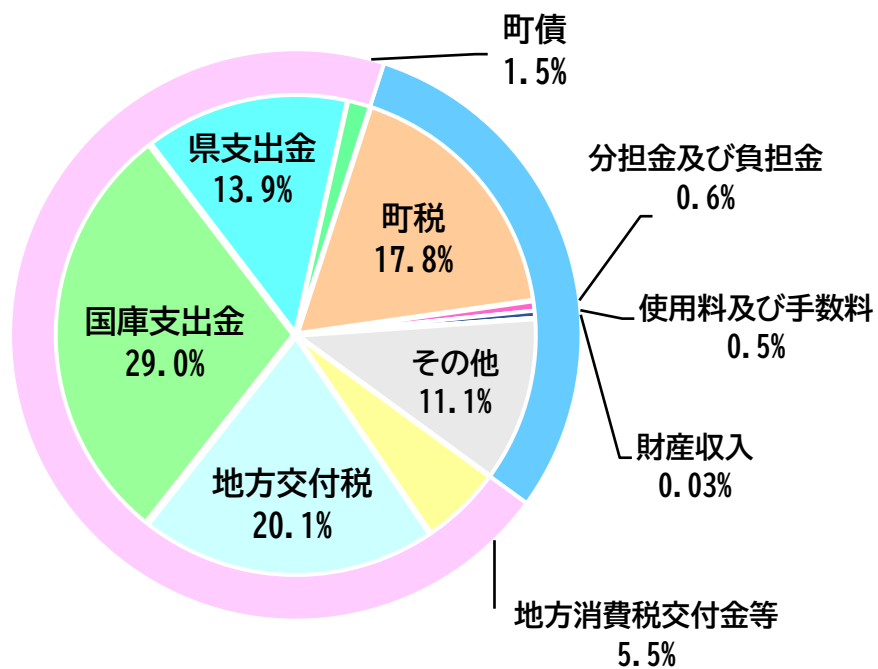
# 歳入編



## Q 令和8年度の与那原町の歳入は？

A. 一般会計の歳入には、町税や国・県からの支出金(補助金)、銀行などからの借入金や施設の使用料などがあります。

### 一般会計歳入予算



依存財源 70.0%	
地方交付税	22億8211万円
国が徴収した国税から、市町村の財政状況に応じて交付されるものです。	
地方消費税交付金等	6億1948万円
皆さんが納めた消費税の一部を、一定の割合に応じて交付されるものです。	
国庫支出金	32億8899万円
市町村が行う特定の事業について、国から交付されるものです。	
県支出金	15億7237万円
市町村が行う特定の事業について、県から交付されるものです。	
町債	1億6930万円
市町村が行う借入のことです。道路や学校などの公共施設を建てる際の資金として調達するものです。	

自主財源 30.0%	
町税	20億1262万円
皆さんが町に納めていただく税金です。個人住民税、固定資産税、軽自動車税などがあります。	
分担金及び負担金	7143万円
事業にかかる費用の一部を、受益(サービス利用)の程度に応じて利用者に負担していただくものです。	
使用料及び手数料	5392万円
町の施設の利用や各種証明書を発行する際にいただいているお金です。	
財産収入	340万円
町が持っている財産(土地)の貸付や売り払いなどによって得られるお金です。	
その他	12億6224万円
町の基金(貯金)からの繰入金や寄附金などです。	

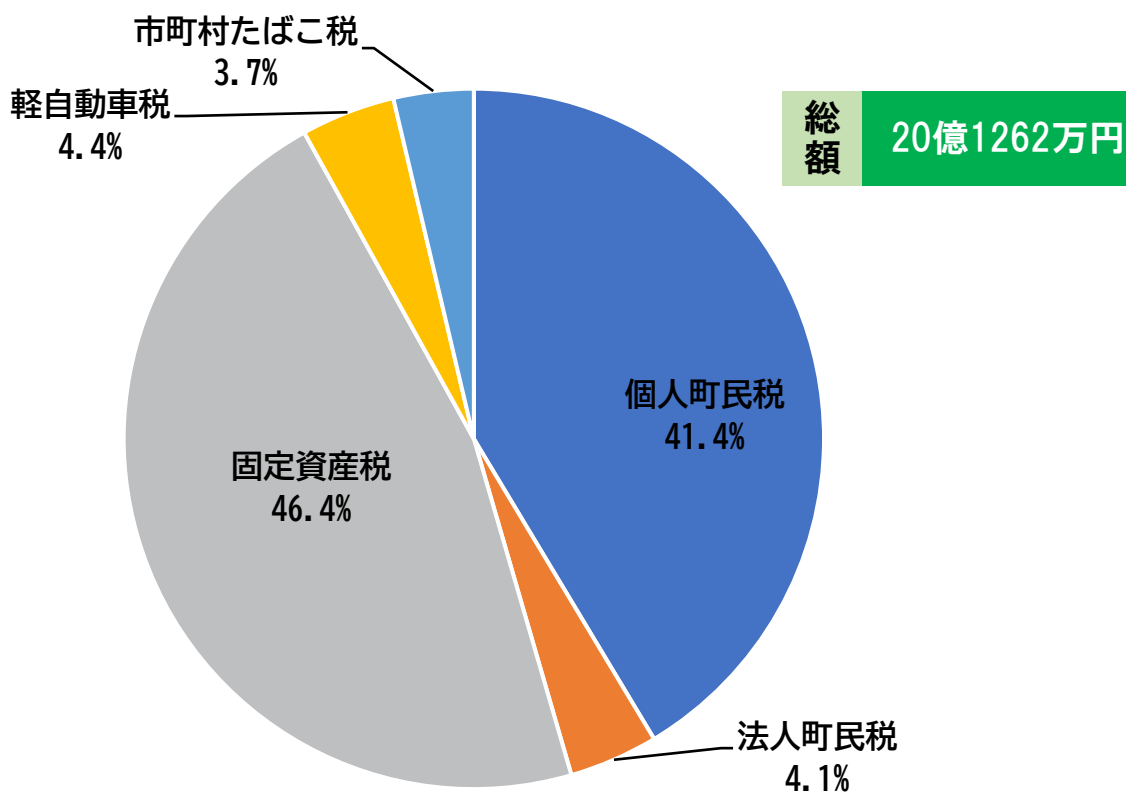
# 歳入編



## Q 町税にはどのようなものがあるのですか？

A. 与那原町の町税には以下のものがあります。

個人町民税	町民の方が給与などの所得に応じて納める税です。	8億3306万円
法人町民税	町内の会社(事業所)が収益などに応じて納める税です。	8281万円
固定資産税	土地や家屋などを持っている方が納める税です。	9億3471万円
軽自動車税	軽自動車やオートバイなどを持っている方が納める税です。	8758万円
町たばこ税	たばこを買った方が納める税です。	7446万円



### Point!

「自主財源」とは町が自主的に調達できる収入、「依存財源」とは国や県から交付されたり割り当てられたりする財源や町債(借金)のことです。「自主財源」の割合が大きいほど財政は安定しているといえます。

与那原町は約3割が自主財源で、残り7割を依存財源に頼っている状況です。

# 歳 出 編



## Q どのような目的の歳出があるの？

A. 福祉、教育や土木といった主な11の目的の歳出があります。

<b>議会費</b> 1.0% 町議会の運営に必要な経費です。 議員報酬、政務活動費等 1億857万円	<b>総務費</b> 21.3% 役場の維持管理費など役場の全体的な仕事に必要な経費です。 庁舎警備・清掃委託料、電算システム保守費など 24億1227万円	<b>民生費</b> 41.1% 高齢者福祉や子育て対策などに必要な経費です。 介護サービス給付、児童手当、保育所運営費補助など 46億6094万円
<b>衛生費</b> 7.4% 保健衛生やごみ処理などに必要な経費です。 予防接種費、ごみ収集委託など 8億4026万円	<b>農林水産業費</b> 0.2% 農林水産業の振興や普及に必要な経費です。 農業委員会運営費、町民農園運営費など 2770万円	<b>商工費</b> 2.7% 地域商工業の振興、観光事業などに必要な経費です。 町商工会補助金、与那原大綱曳まつり運営補助金など 3億1062万円
<b>土木費</b> 5.2% 道路や公園の整備・管理などに必要な経費です。 道路新設工事、修繕工事、公園清掃委託など 5億9324万円	<b>消防費</b> 2.9% 消防・救急活動などに必要な経費です。本町は東部消防組合への負担金となります。 東部消防組合(与那原町、西原町、南風原町の3町で構成)への負担金 3億2856万円	<b>教育費</b> 11.4% 小中学校の教材や備品、校舎の維持管理など学校教育に必要な経費です。 各学校庁舎の修繕費、学習支援員、特別支援員の報酬など 12億9367万円
<b>公債費</b> 6.5% 借入したお金(町債)の返済に必要な経費です。 7億3003万円	<b>予備費</b> 0.3% 緊急的な支出に充てるために備えた経費です。 3000万円	

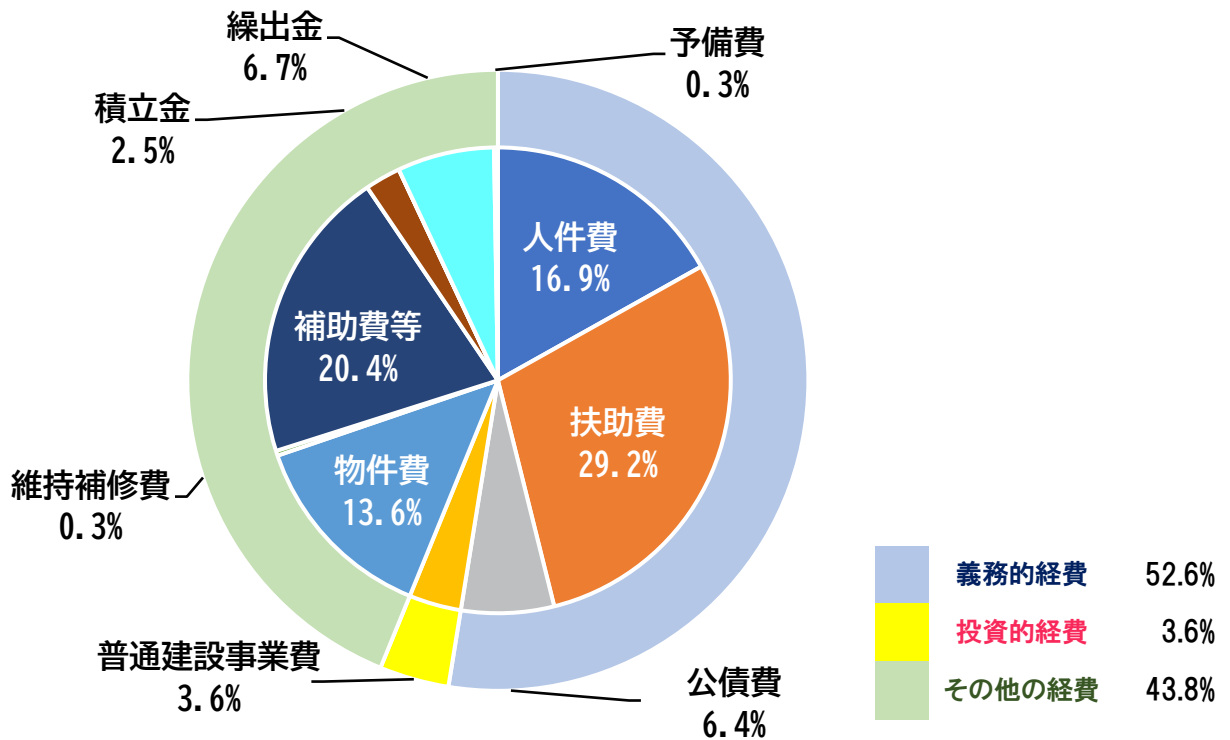
### Point!

一般会計113億3586万円のうち、41.1%が介護サービスなどの福祉に係る給付費や保育所の運営費補助などの子育て対策といった社会保障関係の経費である民生費となっています。



## Q ちがった視点から見ることはできるの？

A. 経費の経済的な性質に着目した性質別という分類で見ることができます。



### 義務的経費

- ・人件費
- ・扶助費
- ・公債費

人件費、扶助費、公債費を「義務的経費」といいます。これらは毎年度必ず支出しなければならない経費になります。

人件費・・・職員や会計年度任用職員の給与、報酬など

扶助費・・・介護サービス給付、保育所運営費補助など福祉や医療に係る経費

公債費・・・借入したお金(町債)の返済に必要な経費

### 投資的経費

- ・普通建設事業費

道路や学校など公共施設の建替えや改築などを行うための経費になります。

### その他の経費

- ・物件費
- ・積立金
- ・維持補修費
- ・繰出金
- ・補助費等
- ・予備費

物件費・・・光熱水費、消耗品費、委託料など

維持補修費・・・公共施設の修繕費

補助費等・・・東部消防組合への負担金など

積立金・・・各基金(町の貯金)への積立金

繰出金・・・特別会計の収入を補うための経費

予備費・・・緊急的な支出に充てるために備えた経費

# 主要事業編

ここからは、各課の主な事業の紹介をしていきます。

## 1. みんなが参加したくなる「ひと」と「人」が綱がる新しいまちづくり

### 1-① 人づくり・地域づくり

#### 総務事務運営事業(自治会交付金)

総務課

予算額

136万円

与那原町には13の自治会・行政区があります。自治会等の賑わい創出及び地域活性化を目的として、各種支援を実施しています。ぜひ、お住まいの自治会で行っているイベントなどに参加をしてみたいかがでしょうか。各自治会の情報はQRコードからご確認できます。



### 1-③ 情報の共有・共鳴で築くまち

#### 情報政策運営事業(町公式LINE)

総務課

予算額

276万円

町行政のデジタル化を推進するための事業です。その1つである町公式LINEでは、各お知らせ、ごみの分別検索、各オンライン申請などの様々な機能を構築済みです。登録者数は2026年1月時点で約14,030人と町民の半数近くの方に登録いただいております。町民の皆様からの機能の要望も、LINEメニューの目安箱より随時受付中！



LINE ID @yonabarutown

LINEの「友達」追加から「QRコード」または「ID検索」で登録してください。

### 1-④ 行財政運営

#### コンビニ交付サービス事業

住民課

予算額

757万円

現在、町民の4人に3人が持っているマイナンバーカード。カードを身近に利用し、利便性を広く体験していただくため、コンビニで発行する証明書の手数料を10円へ引き下げます(令和6年4月～令和9年3月)。役場の窓口で発行する場合は1件あたり300円ですが、コンビニで発行すると1件あたり10円です。

#### 取得できる証明書

- 税証明書(10円/件)
- 住民票の写し(10円/件)
- 印鑑登録証明書(10円/件)
- 戸籍の附票の写し(10円/件)



利用時間：午前6時30分～午後11時まで(土日、祝日も利用可)

### 1-④ 行財政運営

#### 指定金融機関等事務事業

会計課

予算額

2152万円

町の委託を受けて町税などの公金の収納や支払いの事務をとりまとめる金融機関のことを指定金融機関といいます。役場庁舎内には指定金融機関の派出所(銀行窓口)があります。



派出所での受付時間 午前9時～12時・午後1時～3時

※受付時間以降の町税・料などの支払いについては、各課窓口でお尋ねください。

# 1. みんなが参加したくなる「ひと」と「人」が綱がる新しいまちづくり

1-④ 行財政運営

ふるさと基金積立事業

ブランド推進課

予算額 1億5039万円



ふるさと納税は、与那原町が定める5つの事業を応援するため、個人の方から寄付を募る制度です。寄付の受付や返礼品の調達・配送などの運営経費として、寄付額の約5割を活用し、残りの5割は地域振興や住民サービスの充実に役立てています。

問い合わせ先 ブランド推進課 098-945-5323

1-④ 行財政運営

納税賦課徴収事業

税務課

予算額 1942万円

各税目【個人町県民税・森林環境税、固定資産税、軽自動車税、法人町民税、たばこ税】の課税・徴収事務に係る経費です。納税通知書、納付書、督促状などを発行するための印刷代や、コンビニでの納付を可能にするために各コンビニ事業所へ支払う手数料などがあります。

個人町県民税・森林環境税、固定資産税、軽自動車税、法人町民税については、納付書に印字された地方税統一QRコードを利用することで、全国の地方税統一QRコード対応金融機関や対応のスマートフォン決済アプリから納付が可能です。

<対応するスマホ納付アプリ>

PayPay、J-Coin Pay(みずほ銀行)、d払い(NTTドコモ)、auPAY、OKI Pay(沖銀)※、ゆうちょPay(ゆうちょ銀行)※、はまPay(横浜銀行)※、etc...

※令和8年12月20日をもってサービス提供終了



1-④ 行財政運営

自治体DX推進事業

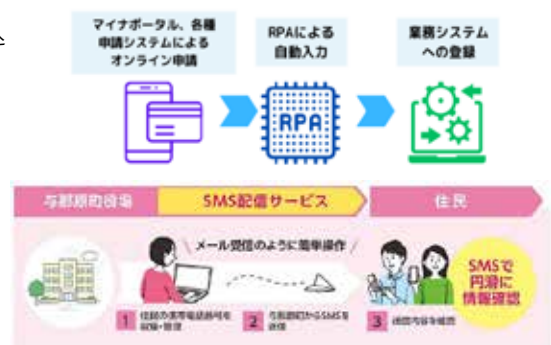
総務課

予算額 5270万円

与那原町では、デジタル技術を使って役場の手続きをより便利にする取組みを進めています。マイナンバーカードでのオンライン手続きや、LINEに加えてSMS(ショートメッセージ)でも大事なお知らせをお届けします。申請や申込みはオンライン申請システムで自宅や外出先からできるようにし、RPAやAIを使って事務を効率化します。その結果、手続きが早く終わり、申請から決定までの時間も短くなるなど、町民サービスをよりよくしていきます。

システム導入により事務効率アップ

オンライン申請の流れ(イメージ)



## 2. 「いちゃりばちよーでー」平和の心で綱がる教育文化のまち

### 2-① 学校教育の充実

#### きめ細かな児童生徒支援事業

学校教育課

小中学校において、児童・生徒の学習サポートを行うための学習支援員の配置、特別な支援を必要とする児童・生徒の学校生活及び学習の支援を行うため特別支援教育支援員の配置を行います。

予算額

1億1528万円



学習支援員配置による授業風景

### 2-① 学校教育の充実

#### 検定料・県内ホームステイ補助事業

学校教育課

町内小中学生が実用英語技能検定、実用数学技能検定、日本漢字能力検定を受検しやすくするために、一定条件を満たした方を対象に各種検定料の半額を補助します。

県内ホームステイ事業は、町内中学生を対象に県内居住の外国籍家庭へのホームステイ費用を補助しています。ただ家庭で過ごすだけでなく、外国人とのグループディスカッション等多様なプログラムも行っています。また、町のALTが事前事後学習で手厚く支援し、気持ちの表し方や簡単な日常会話を学んでいます。（ALT:外国語指導助手）

予算額

290万円



R7実施の様子

### 2-① 学校教育の充実

#### 不登校対策等事業

学校教育課

不登校児童生徒に対する登校復帰や不登校となる状況を未然に防ぐために、校内自立支援室を小中学校に設置し、校内自立支援員による登校支援や学習支援を行います。また、町独自の学校カウンセラーを学校現場に派遣し、児童生徒や保護者の方々の相談業務を行っています。

予算額

2189万円



### 2-① 学校教育の充実

#### 与那原小学校管理運営事業

公共施設課

与那原小学校の校舎は、築44年が経過し、老朽化が進んでいる状況にあります。このため、建替事業や長寿命化事業に向けた検討を行うことを目的として、令和7年度に耐力度調査を実施し、施設の現状を確認しました。令和8年度はこの調査結果を踏まえ、基本構想の策定を計画するなど、安全で安心な教育環境の確保に取り組んでまいります。

予算額

1300万円



**2-④ 地域交流と支援体制****与那原町青少年人材育成交流事業****生涯学習振興課****予算額****165万円****R7年度は北海道浜中町へ派遣**

町内の児童生徒及び青少年が、風土・文化の異なる地域での経験を通し広い視野を持つことで、これからの町の発展に寄与する人材となることが目的です。

県外へ派遣を行い、現地での交流を実施し、異文化に触れることでより一層の郷土愛、地元愛を育みます。

**2-④ 地域交流と支援体制****図書館事務運営事業****生涯学習振興課****予算額****2215万円**

図書館は本や雑誌、CD、DVDなど様々な資料をそろえ、町民が自由に利用できる施設です。

生涯学習の拠点として、調べものの相談や読み聞かせ、季節に応じた展示・イベントを行い、町民の読書活動推進に取り組んでいます。

**2-⑤ 心と体を育むスポーツ環境づくり****与那原町スポーツツーリズム構築事業****生涯学習振興課****予算額****420万円**

本町の健康やスポーツとの親和性が高い地域特性を活かした合宿利用や、関連した来訪者の増加及び町民（児童生徒）とアスリートの交流機会の創出を図るため、スポーツ合宿の誘致を行います。

県外からスポーツ合宿または自主トレーニングを行うアスリートを町内に誘致し、宿泊先および練習場所の提供を行うこととあわせて誘致団体と地域の交流機会を創出し、スポーツを通したまちづくりを行う機運の醸成やスポーツ人材の育成、将来的な合宿の定着化を目指します。



## 2. 「いちゃりばちよーでー」平和の心で綱がる教育文化のまち

### 2-⑥ 文化の保全・継承

#### 綱曳資料館管理運営事業

生涯学習振興課

予算額

717万円

本町の教育・学術及び文化の継承・発展に寄与することを目的とした大綱曳資料館の運営に係る事業です。

令和7年度は、昨年度までに製作した大綱曳や町指定文化財のVR、多言語化映像を通してこれらの価値や魅力を町内外に発信しました。綱作りなどの体験も実施し、伝統文化の継承や町民のアイデンティティの醸成も図っています。

令和8年度も引き続き大綱曳の町内外への発信と体験を通じた伝統文化の継承に努めます。



### 2-⑥ 文化の保全・継承

#### 文化フェスティバル事業

生涯学習振興課

予算額

49万円

与那原町では3年ごとに、町の総合文化祭的位置付けで一般にも広く参加募集する「ふれあい文化フェスティバル」、社会教育・生涯学習に係る団体の発表の場となる「生涯学習振興大会」、公民館サークルによる利用団体連絡会が中心となって行う「公民館まつり」を三本柱として活動発表の場を設けています。令和8年度は第22回ふれあい文化フェスティバルを開催いたします。芸術文化に携わる方に発表する場を提供し、芸術、伝統文化の発展と普及、後継者の育成を図り、薫り高い文化の街を築くことを目的として開催いたします。



### 2-⑥ 文化の保全・継承

#### 町民ホール管理運営事業

生涯学習振興課

予算額

1125万円

与那原町上の森かなちホールは、コンパクトな町に似合うコンパクトなホールで、町民の文化、芸術活動及び健康づくりの拠点として令和3年度に設置されました。供用開始から5年目を迎え、町民の文化活動・生涯学習をはじめ、地域の行事や本格的な舞台公演など目的に応じて幅広く利用されています。

また、町の保健センターや、災害時には避難施設としても機能し、町民の命と暮らしを守ります。



### 3. 笑顔あふれるやさしいまち

#### 3-① 子育て環境づくり

#### 保育給付事業(施設型、地域型)

子育て支援課

**予算額 12億2571万円**

仕事などで日中保育することができない保護者に代わり、0～5歳の児童を保育する認定こども園・認可保育所・地域型保育事業所に対して、財政支援（運営費用の補助）を行っています。

(認定こども園・認可保育所)

町内8施設、町外8施設が対象（見込み）となっています。

(地域型保育事業)

町内6施設が対象（見込み）となっています。



#### 3-① 子育て環境づくり

#### 子ども医療費助成事業

子育て支援課

**予算額 1億1933万円**

子育て世帯の経済的負担を減らすため、医療費の自己負担分を原則窓口での支払いが必要ない現物給付により支給しています。令和6年4月からは、対象者を拡充し、高校生までとしました。



#### 3-① 子育て環境づくり

#### 児童手当等支給事業

子育て支援課

**予算額 6億3579万円**

児童手当は、子ども・子育て支援の適切な実施を図り、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な成長に資することを目的としています。  
支給対象は、0歳から高校生までで、毎年6回偶数月（4月、6月、8月、10月、12月、2月）に支給されます。

#### 【児童手当の支給額】

子どもの年齢	支給額（月額）
 0～3歳未満	15,000円
 3歳～高校生卒業まで	10,000円
 第3子以降	30,000円

### 3. 笑顔あふれるやさしいまち

#### 3-③ 障がい者(児)福祉

#### 自立支援給付事業

福祉課

身体、知的、精神に障がいを抱えた方に支援サービスの提供や、医療費の助成等を行います。

①介護・訓練等給付

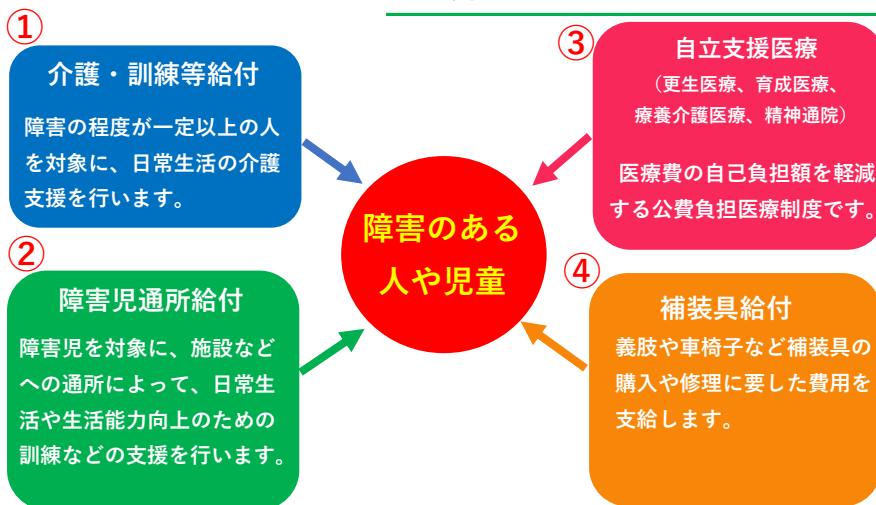
②障害児通所給付

③自立支援事業

(更生医療、育成医療、療養介護医療、精神通院)

④補装具給付

※世帯所得により自己負担額が異なります。



予算額

12億1770万円

#### 3-④ 障がい者(児)福祉

#### 交流センター(ひざし)運営事業

福祉課

障がいをもつ方やその家族が悩みや不安を相談できる場所、障がいがあるなしにかかわらず地域の人々と交流できる場所、基本的な生活習慣を身につける場所として運営しています。また、地域活動支援センターを設置し創作活動などの事業も展開しています。



予算額

692万円

#### 3-⑤ 高齢者福祉

#### 地域支援事業(総合事業)

福祉課

介護保険制度で市町村が行う事業です。何歳になっても健康な状態を保てるように予防事業を行うとともに、万が一介護が必要になった場合でも、可能な限り自立した生活ができるよう支援します。

#### 介護予防・日常生活支援総合事業

1. 一般介護予防事業：元気アップ教室、料理教室など

2. 介護予防・生活支援サービス事業

予算額

3400万円



## 4. 快適に暮らせる美しいまち

### 4-③ 交通環境の充実

豊かな暮らしを支える交通環境構築事業

企画政策課

過度に自動車に依存せず誰もが快適に移動できる交通環境を目指し、公共交通を含む多様な移動手段の利用促進や導入検討を図ります。

公共交通を身近に感じバスの利用促進を図る、『小学生向け「バスの乗り方教室」の実施』や、新たな移動手段の選択肢としての『シェアサイクル導入実証実験』を行っています。

予算額

200万円



### 4-⑤ 上水道、4-⑥ 下水道

水道事業、下水道事業

上下水道課

#### 水道事業

水道事業は、『安全で安心な水』をみなさんに届けるための費用を、水道料金でまかなっています。みなさんから集めた料金は、県から水を買うお金や、水漏れの調査や修理、メーターの確認、施設の工事やお手入れ、水の安全を確かめる検査、人件費などに使われています。

予算額(水道)

8億1416万円

予算額(下水道)

11億7373万円

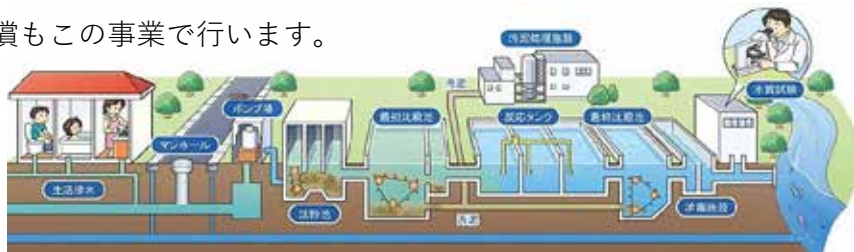


#### 下水道事業

各家庭からの汚水を処理場へ運ぶための汚水管や、まちに降った雨で浸水被害が起こらないように、川や海まで運ぶ雨水管を道路の下に埋める工事をします。また、工事をするときに必要な調査・設計や支障となる水道管などの移設補償もこの事業で行います。

令和7年12月末の整備状況

①行政人口	19,860人
②使用可能人口	17,506人
③使用人口	13,484人
④普及率(②/①)	88.1%



### 4-⑦ 公園・緑地の推進

沖縄振興公共投資交付金事業(公園)

まちづくり課

与原公園は、平成3年に近隣公園として供用開始されてから30年余りが経過しており、施設の老朽化等が進んでいることから、公園全体の再整備に取り組んでいます。公園敷地を拡大し、多目的グラウンドや大型遊具、駐車場などを整備し、町民の憩いとレクリエーションの場として機能強化を図り、利用者の利便性や快適性の向上に取り組んでいます。

予算額

1億6153万円



与原公園新設トイレ

## 5. 「ひと」と「人」が綱がる安心・安全なエコタウン

### 5-① 消防・救急

#### 東部消防組合負担金事業

生活環境安全課

与那原町・西原町・南風原町の消防行政を担う東部消防組合に対して、3町でその運営費を分担しており、消防機能の強化に取り組んでいます。

**予算額**

**3億2856万円**



車両破壊訓練



水難救助訓練

### 5-③ 防犯・交通安全

#### 交通安全施設整備事業

生活環境安全課

地域の交通安全ボランティアの見守り活動の保険や老朽化した交通安全施設（カーブミラー等）の取替や町内危険箇所等へ交通安全対策工事を行います。

**予算額**

**863万円**



通学路の交通安全対策



### 5-④ 環境保全・循環型社会

#### 清掃事務運営事業

生活環境安全課

与那原町内の家庭から出るごみの収集から焼却施設への搬入を行うほか、ごみ袋や粗大ごみ処理券の製造、生ごみ処理機を購入した方への補助などを行っています。

**予算額**

**8291万円**



収集後分別されたごみ  
(東部環境美化センター)

## 6. 伝統を継承し未来に綱げる産業のまち

### 6-① 農林水産業の振興

#### 町民農園運営事業

ブランド推進課

予算額

22万円

町民が自然に親しみ、収穫する喜びを味わい、農業に対する理解を深めてもらうことを目的として、「与那原町いきいき町民農園」を運営しています。

問い合わせ先

ブランド推進課 098-945-5323



### 6-② 商工業

#### 商工業振興事務運営事業

ブランド推進課

予算額

1028万円

地域商工業者の振興発展、商工業の総合的な改善発展を図る  
与那原町商工会の活動補助をおこない、各事業所に対して経営  
に関する指導・助言や、講習会等を開催して事業をサポートし  
ます。また地場産業の窯業振興や赤瓦街並み景観形成の促進を  
図るため、沖縄赤瓦を使用した建築物の建築主に対し奨励金を  
交付します。



### 6-③ 観光

#### 与那原町魅力発信事業

ブランド推進課

予算額

3612万円

与那原大綱曳まつりをより安全に、楽しく参加していただく  
ための運営やPR活動、軽便駅舎の魅力発信のためのコンテンツ  
強化・PR事業、地域活性化イベント等を実施します。また、与  
那原町キャラクター(つなひきかちゃん)の運用、SNSを活用し  
町内の魅力発信を行います。



## 全町(庁)体制で推進すべき重要施策

### 重要施策① 大型MICE施設

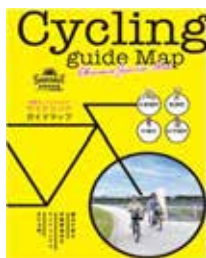
#### 東海岸地域サンライズ推進事業

企画政策課

予算額

50万円

東海岸サンライズ推進協議会は、与那原町、西原  
町、中城村、北中城村の4町村で構成しています。  
大型MICE施設の整備と関連した賑わいの創出な  
ど、東海岸地域を誰もが訪れたくなる魅力ある地域  
となるよう様々な事業を実施しています。最近で  
は、構成町村において観光の広域化に向けた勉強会  
等をしたり、サイクリングのイベントを開催してい  
ます。



サンライズエリア  
サイクリング  
ガイドマップ

サイクリングイベントの様子

## 全町(庁)体制で推進すべき重要施策

### 重要施策② こどもの貧困対策

#### こどもの貧困緊急対策事業

子育て支援課

将来を担う子どもたちの深刻な貧困に対応するため、地域の実情を踏まえた支援員の配置やこどもの居場所づくりを行い、こどもが抱える課題や問題の解決を図ります。

予算額

2057万円

#### ①児童自立支援員の配置

支援員2名を配置し、学校や関係機関と連携することで、貧困により様々な課題をかかえている児童を早期発見し、環境改善を図ります。

こどもの居場所 町内3か所

- ①つなひきこども食堂
- ②まある家あがり
- ③まある家よなばる

#### ②こどもの居場所づくり運営支援

こどもがいきいきと過ごせる居場所を提供し、生活指導や学習支援、食事の提供などを行う個人、団体に対して、運営費の補助を行います。



### 重要施策③ 生涯健康づくりの推進

#### 母子保健事業・成人保健事業

健康保険課

#### 母子保健事業

親子健康手帳の発行から始まり、お母さんとおなかの赤ちゃんが妊娠期を健やかに過ごせるよう妊婦健診や保健相談を実施しています。出生後は乳幼児健診や健康相談においてお子さんの成長・発達を保護者と確認するとともに、育児に関するさまざまな相談に応じます。また、子どもたちや妊婦さんを感染症から守るための予防接種を行います。

予算額

7936万円

#### 親子健康手帳



#### 成人保健事業

人生100年時代を見据えて健康寿命の延伸（生涯現役）を図るため、内臓脂肪蓄積による生活習慣病の予防に着目した特定健診及びがん検診等の実施と、健診結果をもとにした保健相談を行っています。また、一体的実施事業にて75歳以上の後期高齢者へも同様の個別支援に加えて、通いの場を活用した健康教育を実施しています。



### 重要施策④ 脱炭素地域づくり

#### 脱炭素事業

企画政策課



脱炭素周知動画は  
ここからご覧ください♪

予算額

9億9611万円

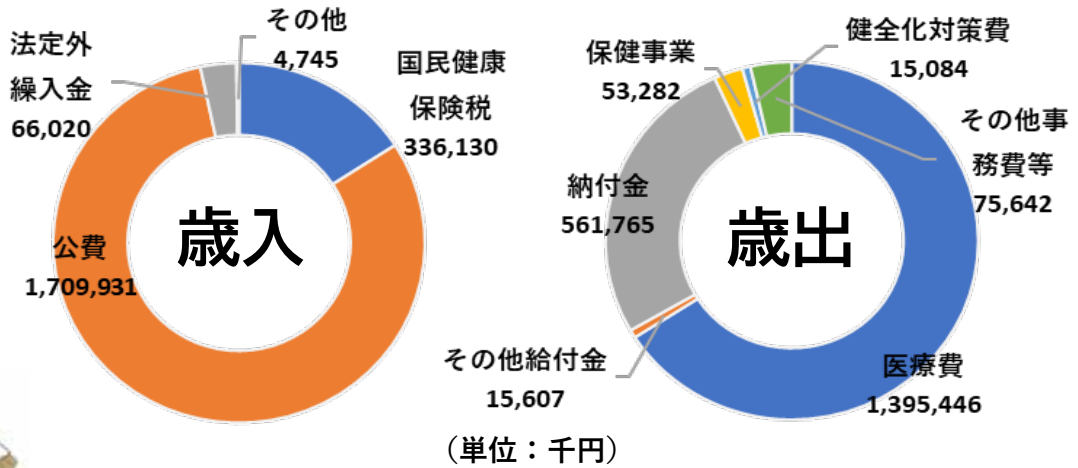
脱炭素事業は、家庭や事業所から出るCO2を削減し地球温暖化の振興を抑えるための取組です。CO2排出量と光熱費負担の低減を図り、安心して暮らせる環境を次の世代へ引き継ぐために、太陽光等の再生可能エネルギーの導入や省エネルギーを推進します。

# 国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計

国民健康保険特別会計 **予算額 21億1683万円**

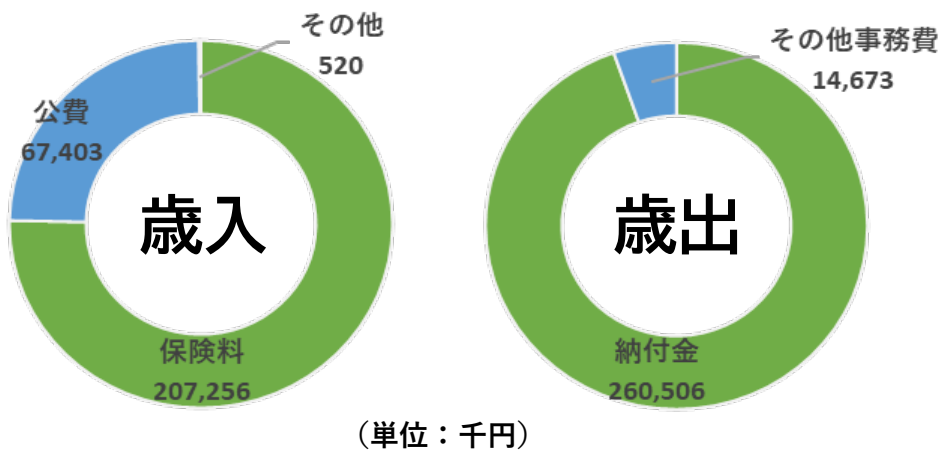
国民健康保険は病気やけがに備えて加入者の皆さんがお金（保険税）を出し合い、病院にかかるときの医療費に充てる助け合いの制度です。その運営を行うために一般会計とは別に国保特別会計が設けられています。

国保会計の歳入は、皆さんから納めてもらう国保税のほかに、法律で定められた公費があります。それらを元に医療費などの支出（支払い）を行っています。



後期高齢者医療特別会計 **予算額 2億7518万円**

後期高齢者医療制度は75歳以上（65歳以上の一部も含む）の方が加入する医療保険制度です。



後期高齢者医療は、県内全市町村が加入する「沖縄県後期高齢者医療広域連合」が運営主体となることから、町から広域連合へ納付金という形で支払いをしています。



## 与那原町議会

議会運営、議員報酬、議員研修

議会事務局

議会は、町民の中から選挙で代表（議員）を選び、町の事業や予算をどのように使うかなどを話し合って決めることです。与那原町の議員定数は14名で、議員報酬や議員の研修費などの予算があります。

### 議員報酬（年額）

議長	469万円×1名
副議長	398万円×1名
委員長	385万円×4名
議員	375万円×8名

※本会議をYouTubeで配信しています。

**予算額 8414万円**



町議会のYouTube  
配信はこちらから→





## 与那原町のわかりやすい予算

【発行】与那原町財政課

【お問合せ】〒901-1392

沖縄県島尻郡与那原町字上与那原16番地

電話 098-945-6521

FAX 098-946-6074